

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本学では、本学が定めた「建学の精神」や「教育理念」「教育目標」に共感し、自らの可能性に向かって、失敗を恐れることなく何事にも果敢に挑戦し、日々努力を続けることができる学生の入学を期待しています。入学者には以下のことを求めます。

1. 高等学校等の教育課程を幅広く修得し、基礎的・基本的事項を身に付けている。
2. 高等学校等における各教科等の学習を通して、様々な人々とコミュニケーションを図るための基本的な態度・姿勢を身に付けている。
3. 様々な課題について自ら気づき、その解決を図ろうとする主体性と意欲がある。
4. 豊かな心を持ち、周囲の人と協調を図りながら物事に取り組もうとする態度・姿勢を身に付けている。
5. 学びたい学部・学科で身に付ける知識や経験を、実社会において活かしていきたいという目的意識と意欲がある。

■ 高松大学

発達科学部

発達科学部は、本学部での学びや経験を活かして子どもの育ちを支えるために尽力する人材を育成します。このことから、発達科学部では以下のような学生を求めています。

1. 高等学校等の教育課程を幅広く修得し、教育・保育その他子どもに関する職業人に求められる基礎的・基本的教養を身に付けている。
2. 高等学校等における各教科等の学習を通して、様々な人々とコミュニケーションを図るための基本的な態度・姿勢を身に付けている。
3. 様々な課題について自ら気づき、子どもの育ちに関わる諸問題を自ら発見し、自ら解決しようとする主体性と意欲を持っている。
4. 豊かな心を持ち、周囲の人と協調・協働して物事に取り組もうとする態度・姿勢を身に付けている。
5. 教育・保育その他子どもに関する職業人に求められる使命感や倫理観を大切に考えている。
6. 子どもを愛し、子どもの育ちを支える学びに強い関心を持っている。
7. 人間性の向上を常にめざすとともに、幅広い教養を身に付けるべく、自律的に学ぶ意欲と社会の変化に対応しようとする柔軟性を持っている。

経営学部

経営学部は、自ら考え、判断し、行動できる力、すなわち社会人として活躍できる力を身に付け、地域を元気にするために活動できる人材を育成します。このことから、経営学部では以下のような学生を求めています。

1. 企業のしくみや組織の運営に必要な知識を身に付ける意欲を持っている。
2. 現代社会で起っている様々な問題に対して関心があり、解決しようとする意欲を持っている。
3. 課外活動、ボランティア活動、資格取得などに熱心に取り組み、入学後もチャレンジしたいと考えている。
4. 豊かな人間性を育み、チームワークを大切に、社会性を身に付けたいと考えている。
5. 起業などを通して、地域の活性化に貢献し、地域社会の指導者をめざそうと考えている。

■ 高松短期大学

保育学科

保育学科は、「保育学科のめざす保育者像：子育て支援や福祉を通して、地域に積極的に貢献するとともに自己研鑽し続ける保育者」に共感し、以下のような素養を備えた学生を求めています。

1. 基礎的な学力を身に付けており、保育に関する専門的知識と技能の修得に高い意欲を持っている。
2. 保育における様々な課題に気づき、その解決のために主体性、協調性を持って取り組む意欲がある。
3. 子どもを愛し、誠実で常に相手の立場に立って考え行動できる。
4. 適切な言葉遣いや節度ある行動ができる。
5. 礼儀正しく、明るい態度でコミュニケーションをとることができる。
6. 人として成長するために常に努力することができる。

ビジネスデザイン学科

ビジネスデザイン学科は、職業人、社会人として必要な能力や態度を育成するために、入学者には以下のことを求めます。

1. 高等学校等における基礎的な知識、特に国語・数学・英語などの基礎的学力を身に付けている。
2. 同年代の人や教職員、社会人など、様々な人々とコミュニケーションをとることができる。
3. 様々な課題について自ら気づき、よりよく解決するために挑戦することができる。
4. 目標に向かって前向きに努力することができ、同年代の人や教職員、社会人など、様々な人々と協力して責任を持って物事に取り組むことができる。
5. 総合ビジネス、医療事務、グローバルビジネス、ヒューマンITに関する専門知識や実務技能を身に付けたいという目標がある。
6. 社会人としての基本的なマナーや品位を身に付けたいという目標がある。

■ 入学者選抜方針

本学では、受験生の多様な資質を多面的・総合的に判定するため、様々な入試区分に応じた選考方法により、「学力の3要素」を確実、丁寧に評価する選抜を実施します。

入試概要

■ 募集人員

高松大学 175名（発達科学部70名・経営学部105名）
高松短期大学 90名（保育学科40名・ビジネスデザイン学科50名）

入試区分等		学部・学科	高 松 大 学 《男女共学：修業年限4年》		高松短期大学 《男女共学：修業年限2年》	
			発達科学部 子ども発達学科	経営学部 経営学科	保育学科	ビジネス デザイン学科
奨学生	総合型選抜奨学生 ○特別奨学生 ○スポーツ奨学生（大学で募集）	（40名程度） 給付額は「奨学制度」（p.30）を参照	（15名程度）			
	学校推薦型選抜奨学生（前期・後期） ○特別奨学生 ○小学校教員養成特別奨学生（大学／発達科学部で募集） ○職業会計人育成特別奨学生（大学／経営学部で募集） ○スポーツ奨学生 ○高大連携推進指定校奨学生					
	一般選抜奨学生（前期・後期） ○特別奨学生 ○小学校教員養成特別奨学生（大学／発達科学部で募集） ○職業会計人育成特別奨学生（大学／経営学部で募集）					
一般	総合型選抜総合	30名	50名	30名	36名	
	学校推薦型選抜指定校（前期・後期）					
	学校推薦型選抜オープンチャレンジ（前期・後期） ○成績優秀者推薦 ○専門学科・総合学科推薦 ○課外活動推薦 ○チャレンジ推薦 ○かわわ枠推薦					
	一般選抜（前期・後期）	15名	25名	5名	7名	
	共通テスト利用選抜（1期・2期・3期・4期）	25名	30名	5名	7名	
	合 計		70名	105名	40名	50名

・奨学生の募集人員は、総合型選抜総合、学校推薦型選抜（指定校、オープンチャレンジ）、一般選抜、共通テスト利用選抜の募集人員に含まれます。

・「長期履修学生選抜」を検討されている方は、本学ホームページをご確認ください。

■ 出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2026年3月31日までに卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 学校教育法第90条第1項の規定により、次の①～⑥のいずれかに該当し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者。
 - ④ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2026年3月31日までに合格見込みの者。（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者および2026年3月31日までに達する見込みの者。

（注）出願開始日の1ヵ月前までに個別の入学資格審査を申請し、審査の結果、資格を認められた場合に限り出願できますので、入学センターまでお問い合わせください。

■ 入試日程等

※1 専願…本学を第一志望とし、合格したら必ず入学する入試 ※2 オンライン入試が可能（p. 23 参照）

入試区分				出願期間	試験日（試験期間）	試験場	合格者発表日	入学手続締切日		選考方法	掲載ページ						
								一次手続	二次手続								
総合型選抜	奨 学 生		特別奨学生	専願 ※1	9/ 1(月)～ 9/ 9(火)	9/20(土)	本学 ※2	11/ 4(火)	11/19(水)	12/17(水)	書類審査 面談（約15分：面談の最初にプレゼンテーション（2分以内）を実施）	p. 7					
	総 合		専願	9/ 1(月)～ 9/ 9(火)	9/20(土)	本学 ※2	①11/ 4(火)	11/19(水)	12/17(水)								
				9/10(水)～10/ 6(月)	10/18(土)												
				9/ 1(月)～10/ 6(月)	A期間 9/ 8(月)～10/17(金) （土日・祝日を除く）												
				10/ 7(火)～ 3/16(月) 必着	B期間 10/20(月)～ 3/17(火)												
	奨 学 生		スポーツ奨学生（大学で募集）	専願	1/ 5(月)～ 3/11(水)							1/26(月)～ 3/13(金)	本学 ※2	① 2/12(木)	2/25(水)	3/11(水)	書類審査 面談（約15分：面談の最初にプレゼンテーション（2分以内）を実施）
													② 2/26(木)	一括手続： 3/19(木)			
								③ 3/12(木)	一括手続： 3/19(木)								
								④ 3/19(木)	一括手続： 3/26(木)								
	学校推薦型選抜	奨 学 生		特別奨学生 小学校教員養成特別奨学生（大学／発達科学部で募集） 職業会計人育成特別奨学生（大学／経営学部で募集） スポーツ奨学生 高大連携推進指定校奨学生	前期	11/ 1(土)～11/ 7(金)	11/15(土)	本学 ※2	12/ 1(月)	12/17(水)	1/ 7(水)	書類審査 面接（約10分：面接の最初にプレゼンテーション（2分以内）を実施）	p. 11・12				
		後期	11/25(火)～12/ 3(水)	12/13(土)	本学 ※2	12/18(木)	1/ 7(水)	1/28(水)									
指 定 校			前期	11/ 1(土)～11/ 7(金)	11/15(土)	本学 ※2	12/ 1(月)	12/17(水)	1/ 7(水)	書類審査 面接（約7分：面接の最初にプレゼンテーション（2分以内）を実施）	p. 13						
		後期	11/25(火)～12/ 3(水)	12/13(土)	本学 ※2	12/18(木)	1/ 7(水)	1/28(水)									
オープンチャレンジ		成績優秀者推薦 専門学科・総合学科推薦 課外活動推薦 チャレンジ推薦 かがわ枠推薦	前期	11/ 1(土)～11/ 7(金)	11/15(土)	本学 ※2	12/ 1(月)	12/17(水)	1/ 7(水)	書類審査 面接（約7分：面接の最初にプレゼンテーション（2分以内）を実施）	p. 14・15						
		後期	11/25(火)～12/ 3(水)	12/13(土)	本学 ※2	12/18(木)	1/ 7(水)	1/28(水)									
一般選抜		奨 学 生		特別奨学生 小学校教員養成特別奨学生（大学／発達科学部で募集） 職業会計人育成特別奨学生（大学／経営学部で募集）	前期	12/15(月)～ 1/23(金)	2/ 7(土)	本学・岡山・広島 徳島・松山・高知	2/12(木)	2/25(水)	3/11(水)	書類審査、学力検査、面接（約10分）	p. 16・17				
				後期	2/ 9(月)～ 2/27(金)	3/ 9(月)	本学	3/12(木)	一括手続： 3/19(木)								
	一 般			前期	12/15(月)～ 1/23(金)	2/ 7(土)	本学・岡山・広島 徳島・松山・高知	2/12(木)	2/25(水)	3/11(水)	書類審査、学力検査、面接（約7分）	p. 18					
			後期	2/ 9(月)～ 2/27(金)	3/ 9(月)	本学	3/12(木)	一括手続： 3/19(木)									
	共通テスト利用選抜		1 期	併願	1/ 5(月)～ 2/ 3(火)	本学での個別学力検査は課さない	—	2/12(木)	2/25(水)	3/11(水)	書類審査 「令和8年度 大学入学共通テスト」成績	p. 19					
2 期			2/ 4(水)～ 2/17(火)		2/26(木)			一括手続： 3/19(木)									
3 期			2/18(水)～ 3/ 3(火)		3/12(木)			一括手続： 3/19(木)									
4 期			3/ 4(水)～ 3/11(水)		3/19(木)			一括手続： 3/26(木)									

■ 評価の方針

アドミッション・ポリシー（各学部・学科の入学者受入れの方針）に基づき、選考方法別に以下の方針により選抜します。

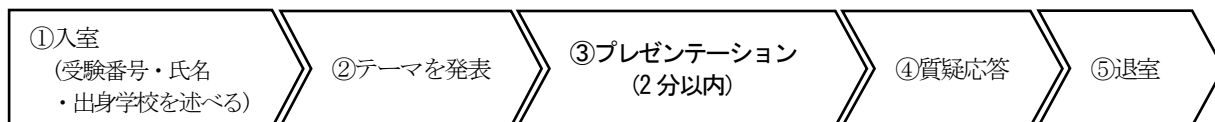
選考方法		評価の方針
書類審査	調査書	全体の学習成績の状況および概評を中心に、総合的な学習の時間の内容・評価、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項等の全ての項目を審査し、学習や活動の成果、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などを判定します。
	推薦書	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などを判定します。
	志望理由書	志望する学部・学科の学問分野への関心、向学心や意欲等を審査し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などを判定します。

選考方法		評価の方針
面談・面接	プレゼンテーション	筋道を立ててわかりやすく説明する力を重視し、論理的思考力や表現力を判定します。
	質疑応答	人間性、思考力・判断力・表現力および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などを判定します。
学力検査		基礎学力・知識を問う問題に加えて、記述式問題により思考力・判断力・表現力を判定します。

面談・面接におけるプレゼンテーション

本学では、総合型選抜と学校推薦型選抜の面談・面接において、下記の要領で、プレゼンテーションを実施します。プレゼンテーションでは、特に、筋道を立ててわかりやすく説明する力を重視して評価することとしています。

■ 面談・面接の流れとプレゼンテーションのスタイル



入室後、面接員の指示を受け、面談または面接の最初の2分間でプレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーション終了後、質疑応答に入ります。

プレゼンテーションは、立ったまま口頭でのみ行い、資料等の持ち込みは不可とします。

■ テーマ

下記のテーマ①～⑥から自由に選択してください。

テーマ①	今までの学校生活の中で、最も力を入れて取り組んだこと
テーマ②	本学入学後、最も力を入れて取り組みたいこと
テーマ③	本学の〇〇学部（学科）に進学を希望する理由・きっかけ
テーマ④	本学の〇〇学部（学科）について知っていること
テーマ⑤	本学卒業後の進路・将来の夢
テーマ⑥	自分について（自己アピール）

■ 組み合わせ出願（同時出願）する場合のプレゼンテーションの実施方法

総合型 組み合わせ方：奨学生（特別奨学生）＋ 総合（試験日 9/20）

最初に奨学生の面談後、総合の面談を実施します。



学校推薦型

組み合わせ方：奨学生（前期）＋ 指定校（前期）
奨学生（前期）＋ オープンチャレンジ（前期）
奨学生（後期）＋ 指定校（後期）
奨学生（後期）＋ オープンチャレンジ（後期）

最初に奨学生の面接後、その他の推薦の面接を実施します。

